

教科名	地理歴史	学年	3	教科書 補助教材 等	高等学校 改訂版 日本史A 人・くらし・未来 第一学習社	
科目名	日本史A	単位数	2			
科目の 到達目標	我が国の近現代の歴史の展開を、諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					
学期	月	指導内容	具体的な指導目標		配当時数	備考
一 学 期	4	近代以前の歴史 近代国家の形成と国際関係の 推移	近代の萌芽や欧米諸国のアジア進 出、文明開化などに見られる欧米文 化の導入と明治政府による諸改革に 伴う社会や文化の変容、自由民権運 動と立憲体制の成立に着目して、開 国から明治維新を経て近代国家が形 成される過程について考察させる。		8	
	5	近代国家の形成と国際関係の 推移 中間考査			8	
	6	近代国家の形成と国際関係の 推移			8	
	7	近代国家の形成と国際関係の 推移 期末考査			2	
二 学 期	9	近代産業の発展と 両大戦をめぐる国際情勢	産業革命の進行、都市や村落の生活 の変化と社会問題の発生、学問・文 化の進展と教育の普及、大衆社会と 大衆文化の形成に着目して、近代産 業の発展と国民生活の変化について 考察させる。また、諸国家間の対立 や協調関係と日本の立場、国内の経 済・社会の動向、アジア近隣諸国と の関係に着目して、二つの世界大戦 とその間の内外情勢の変化について 考察させる。		8	
	10	近代産業の発展と 両大戦をめぐる国際情勢 中間考査			10	
	11	近代産業の発展と両大戦をめく			8	
	12	近代産業の発展と両大戦をめく			2	
三 学 期	1	現代の日本と世界	第二次世界大戦後の政治や経済、国 際環境、国民生活や文化の動向につ いて、現代の諸課題と近現代の歴史 との関連を重視して考察させる。		8	
	2	現代の日本と世界 学年末考査			8	
	3					
年間授業 時間数計	70	1学期 26	2学期 28	3学期 16		
学習上の留意点	開国前後から第二次世界大戦終結後までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の 関連を重視して考察させる。					
評価の観点					評価方法	
関心・意欲・態度	我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高 め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き、国家・社 会を形成する日本国民としての責任を果たそうとしてい				定期考査・提出物・授業へ の取り組み・態度等で総合 的に評価する。	
話す・聞く能力	我が国の近現代の歴史の展開から課題見出し、国際環境と 関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏 まえ構成に判断して、その過程や結果を適切に表現してい					
読む能力	我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用 な情報を適切に選択して、読み取った図表などにまとめたり している。					
知識・理解	我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を 国際環境と関連付けて理解し、その発展を身に付けてい					
<small> ¥22ed01fsv10kyoiku-adtocho-local¥東京都立第四商業高等学校¥4003職員番号¥07教務部¥300.教科¥20.年間 授業計画¥2023_年間授業計画¥普通科目¥3年生¥【地歴・日本史A・3学年】.xls </small>						